

参謀長
軍司令部
官

十月二十四日
八三

1749

至急

2/24 30分

17時 40分

(20)

茶 = 組

釜山

軍參謀長

本二三日三五〇名、船腹ニ對シ到著列車

一本、ミエテ二九〇〇名ニ過中不明ニ四日八九三〇〇名、

輸送

船腹ニ對シ列車到著ハ七三〇〇名ノ狀況ニ付テ
鉄道輸送ヲ此ノ上共促進スルニ度

通電先

大目 京城

終

1750

至急

先方受付 23/16/30

電報班受付 23/17/10

受付番号 18

軍参謀長

発所 京城

又電第 一八八號

輸送

一、本二三日一五時京城發休暇軍人及び家族第一列車釜山
 ニ向ヒタリ 軍人三九八人 其他^{家族}九六一人 子供三三七人
 魚負幼児三三〇人 合計一九〇六人
 右、外列車出發前乘リ込ミタル者若干アルヲ以テ少数ノ
 差位アルベシ

終

至急

受付番號 16

先方受付 23/6/25

電報班受付 23/6/25

軍參謀長

發所 京城

又電第 一八七號

一、昨日ヨリ大桃參謀ヲ仁川ニ派遣シ休暇軍人及引上げ邦人輸送
並ニ連絡部ノ事務指導示ヲ為ス

二、仁川地区休暇軍人ハニセ、ハ日出發ノ事定其他ノ事務順調ニ
進捗ニツツアリ

輸送

終

普通

4九方受付231630

電報受付231630

受付番号

軍令謀長

發所 京城

又電第一八九號

明二四日小谷參謀業務ノ為、軍司令部ニ出頭セシム
八時三〇分飛行場出發、一定歸入頼ム

副

(終)

外戰

至急 10月20日 12時15分

23日 18時20分

(2/1)

第二組

軍參謀長

清州

若參電 四九〇號

朝參電 三七八號返

自衛及警戒備用殘置携帶兵器(小銃、銃劍)
左記ノ通り報告ス

一. 小銃 二一八六

二. 銃劍 二一三三

註
朝參電 三七八號

殘置部隊ノ携帶兵器ノ件

終

1754

經

至急10月23日

17時45分

23日18時20分

(22)

第二組

軍參謀長

京城

ス電第一九〇號

一郵便貯金通帳没収セラルル際受領証ニ金額ヲ記入セラレアリヤ、釜山ニ於テ現在高証明ヲ行フ様米軍ト交渉セラレ度

二大田ハ前項ノ証明ニ依リ内地ニ於テ拂戻シユル様(東京政府)ニセウヨウセラレ度

終

1755

至急

10月23日 16時30分
10月23日 17時0分

(27)

第二組

軍參謀長

光州

1756

一、木浦ヨリ、邦人引揚ニ関シテハ、現地米軍ノ積極的
協力ニヨリ、10月26日頃、出港シ得ル見込ナリ。

二、制限額以外ノ金額及荷物ノ米軍ニ於テ保管シ
荷物ハ別ノ時機ニ輸送ス

三、木浦在港船ノ船舶ハ一〇トン内外ノ機帆船ニシテ

荷物ヲ積マザレバ航行ニ支障アリ且現在木浦ニハ
多数ノ荷物アルニ付、大人各人二個、小人一個ノ積
ヲ許可スル如ク至急米軍ニ交渉ノ方取計ハレ度

輸送

尚決定次第速報セラレ度

光州師範已連絡班長

終

1757

至急 10月23日 14時55分

10月23日 19時

第二組

軍參謀長

光州 (28)

鶴橋(羅州)木浦ノ中間ニハカニテイノ避難民
ハ六名アリ極メテ悲惨ナル狀況ニアルヲ以テ速カニ歸國
セシメ度ニ付木浦部隊ノ引揚時釜山ニ同行シ
得ル如ク該部隊ニ付スル貨車配當時一貨車
増加セラレ度

光州師管區連絡班長

終

1758

至急

23日 24時50分

18時20分

(24)

第二組

軍參謀長

光州

邦人引揚輸送ニ使用ニ得ル自動貨車ハ僅カニ

二輛ニ過ガザレニ付少クモ十三輛(運轉手共)至

急配屬セシメラレ度

光師連絡班長

終

至急 廿日15時30分

23日18時20分

(山)

第三組

軍醫部長

濟州

岩醫電第四九四號

明二三日米軍輸送船に依り患者三三九名(救護区分)

搭送 七六名 護送一五二名 獨歩一二名

食事区分 並食一五九名 粥食一七四名 流動食六名

ヲ佐在保入港スベキ付御高配ヲ乞フ

五八軍軍醫部長

終

至急

本日15時5分

17時30分

19) 第二組

軍法會議檢察官

釜山

黨與逃亡公金帶サイ帰国事件犯人

ヒロセツトホ他五行

住所犯名ス

公金ハ全部回收シジツガイ無ク根據單

純ナルモト認ム

身柄及事件送致如何ニスベキヤ

御指示ヲ乞フ

福岡出張所長

終

至急 21日午後5分 23日午後20分 第2組

軍參謀長 濟州

此若參電第四九二號

若部隊木浦連絡所要員ハ貴司令部ニ於テ復算

スル如ク處置相成度 決算處理モ貴司令部ニ於テ

勤員 實施スル如ク取計ラムレ度

尚有、件木浦連絡所長ニ連絡セラレ度

終

至急

21日 12時30分

23日 18時20分

(26)

第三組

軍司令部

濟州

此副電第四九三號

左記ノ者復員ト共ニ豫備役ニ編入相成度上申ス

獨立混成第一八旅團長

少將

ヒラノカ 平岡 力

第三砲兵司令官

少將

モットリウソウ

第三師団參謀長

大佐

柴田 圭一

第三師団參謀長

大佐

ウメキ 梅木 留助

歩兵第一四四聯隊長

大佐

ナカヤマ 中山 治

野戰重砲兵第五聯隊長

大佐

モリスミ 森山 清満

第三砲兵司令部部員

大佐

トビマツシニ

五八軍司令部

終

至急

23日17時40分

17時45分

(31) 第二組

軍參謀長

釜山

1764

一、釜山ニ於テ業務ニ服セル部隊ヲ可成速カニ解除シ内地ニ帰還セルルコトニツイテハ現地ニ於テ交渉ヲ進ムルモ貴方ニ於テハ好機ヲ求メ交渉方配慮煩シ度 解除セルベキ理由ハ

イ、作業ノ服務期間及量ニ限度無キ為不安焦燥ニカラレアリ

ロ、水及新鮮ナル野菜ニ乏シテ糧給與ト勞務ト皆即調不良

ニシテ患心者多ク發シアリ

ハ、現場指導ノ米軍監督中ニハ往々ニシテ將兵ヲ侮辱シソノ苛酷ナル使役ニ對シ不穩ニ心理状態ノ發生ヲ見受

ケラル

ニ、帰還途中ノ軍隊ナル故 精神的ニ苦痛ニシテ反撥心ヲ

増長シ米軍ニ對シ不詳ナル事件ニ惹起スル恐レキニ非ズ
此ノ点最モ心配シヤリ

ホ、現在護朝護鮮以外ニ大ニ部隊ヲク護朝護鮮ハ

廣島及大阪附近ニシテ家族ガ苛烈ナル戦災ヲ受ケ斷

家族ヲ安ズルノ念トクニ強シ

二、部隊長ハ勞役服務將兵ノ心情右ノ如クモテ以テ統禦

上苦慮シヤリ

(通電先) 大田 京城

終

1765

生普通 10月22日

10月23日 19時45分

(2P)

第二組

軍兵器部長

龜崎浦

一七日六時 米軍卜敬言備交代之釜山連絡班ニ向フ
指示願ヒ度

龜崎浦處理班 中村

終

1786

動員

生普通 10月22日 16時
10月23日 17時45分
(30) 第二組
軍參謀長

野重一五補充隊長ヨリ

野重一五補充隊長ハ十月二一日復員完結ス

副官

終

1767

至急

23日10時0分

11時50分

(15)

第二組

軍 經理部長

福岡

先ニ照会セシ
至急返

臨時賣與金

支給可ナルヤ

尾田少佐

終

1768

至急

23日 13時迄

13時迄

(12)

茶組

軍参謀長

釜山

一、一〇日二日乗船七九番花ノ如シ

興安丸

仙崎向 二七四七名 (内軍人二一三七名)

徳壽丸

博多向 二〇四〇名

白龍丸

博多向 二四〇〇名

才也丸

博多向 四五〇名

計

引揚邦人 五五〇名 軍隊 二一三七名

引揚邦人釜山滞留者ナシ

釜山連絡部長

軍參謀長

京城

至急

23日午後5分

13時分

(9)

芥組

又電第一八五號

米軍ノ要求ヨリ軍連絡班ニ殘置ニアル氣象關係
將校(器材承知アル者ヲ含ム)数名至急京城連絡
部到着セシメラシ度
到着日特至急送

終

三急 習以時分

以時分

(10)

茅二組

軍參謀長

京城

又電茅一八六號

憲兵隊傳へら度

殘留將校、厚將校、下士官、兵約三〇名ヲ殘置

スル件 米軍ニ於テ承知也

終

1771

生至急 10月23日9時53分

12時40分



第二組

軍參謀長

京城

ス電第ハ四號

米第六師団、通報ニ依レバ

石井中佐他中尉一名、木浦ニ於テ米軍、

取調ベヲ受ク

現金一〇〇萬圓ヲ所持シアリ米軍ノ要求ニヨリ

右一〇〇萬圓ノ出所、用途ニ付詳細調査報告

セラレ度

終

1772

緊急

ぶ日 10時 50分

12時 40分

(6) 第二組

軍参謀長

九州

一、當地米軍ヨリ右ノ事項ヲ速カニ軍司令部ニ報告シ處置

セシムル様指示アリタルニ付手配セシメ度

イ、森ゾイボウグン 松本大佐以下二八四名ハ速カニ釜山ニ向ヒ

前進スベシ 但シオウツタイギハ木浦ニ至リ米軍連

絡獲將校トシテ服務スベシ

ロ、再應召者バンダグヨシ中尉以下九七名本二三日九時

木浦ヨリ釜山ニ向ヒ前進セシム 尚殘部(三〇八名、普)ハ

為シ得ル限り速カニ前進スベシ

ニ、尚バンダグヨシ中尉以下ハ在木浦護朝四部隊ニ再應召

1773

セキシ 者ニシテ 残部ニハ八名中ニハ同部隊ノ人ニシテ今ハ

老師連絡班長

終

1774

緊急 23日09時0分 12時40分 の 第二組

軍參謀長

京城

又電第一八一號

一月八日附ヲ以テ米軍ニ申請スル無線通信諸元變更願件一月三日附ヲ以テ左ノ通許可ヨリ先ニ付報告ス

一、使用周波数及通信所名願、通許可ス

二、通信時間ヲ次ノ如ク限定ス

(大田—京城) 七時—八時、一〇時—一二時

一四時—一五時、一九時—二〇時

(大田—濟州) 八時—九時、一二時—一三時

一五時—一六時、二〇時—二二時

(大田—天安、鳥取院) 九時—一〇時 一三時—一三時

一六時—一七時 二二時—二二時)

(大田—釜山、慶水) 七時—八時 一〇時—一二時

一四時—一五時 一九時—二〇時)

(大田—光州、大邱) 八時—九時 一二時—一三時

一五時—一六時 二〇時—二二時)

(大田—裡里、井邑) 九時—一〇時 一一時—一三時

一六時—一七時 二二時—二三時)

三、通信文簿(コピ)ハ必ズ毎日第一四軍司令部ニ提出

スベシ(但シ無線ニ依リテハ可ク)

四、通信諸元、変更ハ必ズ米軍ニ許可ヲ得ル後ニ非ズ

一ノ二

絶対實施セザルニト 従来米軍ヲ調査シタルニ依テ日本
軍ニ於テ無断地上信諸元ヲ變更シ無線通信ヲ實施
シタル形跡ナシトセズ

自今斯ル行爲ニ對シハ米軍ハ断平責任者ヲ追求

スルモノナルコトヲ警告セズ

如ク許可ナシニ勝手ニ通信諸元ヲ變更シ通信ヲ

實施スルカ如キコトノ絶対ナキ様 固停者ニ傳達セラレ度

尚者諸元ノ切換時機ハ機ヲ失ヒズ當方ニ通報セラレ

度 當方ヨリ米軍ニ報告ニ必要ナルニ付念ノ存

終
ハシ

1777

至急

20日午時分

21日卯時分

第二組

軍法務部長

東京発

法電第一號

大赦令第一條

昭和二十年九月二日前各掲之罪、免之

之ヲ赦免ス

一、刑法第七四條及第七六條ノ罪

二、刑法第七七條乃至第七九條ノ罪

三、刑法第九〇條乃至第九四條ノ罪

四、刑法第一〇五條、一〇六條、一〇七條ノ罪

五、戰時刑事特別法第七條、四ノ罪

六、陸軍刑法第五條、第六條、第三〇條ノ罪迄ニ其ノ

未遂罪及豫備及陰謀、罪

七、陸軍刑法第三五條乃至第三九條、罪

八、陸軍刑法第四七條乃至第五〇條及第五五條、罪

這。同法第四七條第四九條及第五五條未遂罪

九、陸軍刑法第五七條及第五九條、罪

〇、陸軍刑法第七三條及第七四條、罪

二、陸軍刑法第七五條及第七六條、罪這。同法第七五條

第一號及第七六條第一號、未遂罪

三、陸軍刑法第九五條乃至第一百〇四條、罪

三、海軍刑法第二〇條第二一條及第二五條、罪這。其

未遂罪及豫備及陰謀、罪

一四、海軍刑法第三〇條乃至第三四條、罪

一五、海軍刑法第四六條乃至第四八條及第四三條、罪

同法第四六條及第五三條、未遂罪

一六、海軍刑法第五五條及第五七條、罪

一七、海軍刑法第七一條及第七三條、罪

一八、海軍刑法第七三條乃至第七五條、罪並同法第七三條

第一號及第七四條第一號、未遂罪

一九、海軍刑法第九五條乃至第一〇五條、罪

二〇、治安維持法違反、罪

二一、前條、煽動罪ト性質ヲ同シタルキハ、罪

二二、國防保安法違反、罪

二三、軍記保護法違反、罪

二四 昭和三年陸軍省令第四三號軍記保護法施行規則
違反、罪

二五 昭和三年海軍省令第三八條號軍記保護法施行規則
違反、罪

二六 軍用資源秘密保護法違反、罪

二七 昭和四年陸軍海軍省令第三三號軍用資源秘密
保護法施行規則違反、罪

二八 昭和九年運輸通信省令第一號運輸通信省軍用
資源秘密保護規則違反、罪

二九 昭和二年閣令第一三號內閣總理大臣、指定之保軍用
資源秘密保護ニ関スル件違反、罪

三〇 前二號ニ掲グル罪ト性質ニ同シクスル キレシムル罪

三、要塞地帯法違反、罪

三、明治三三年法律第八三號違反、罪

三、防禦海面令違反、罪

三、國境取締法違反、罪

三、昭和十四年樺太廳令第八三號國境取締法施行規則

違反、罪

三、治安警察法違反、罪 但し風俗を闍スルヲ除ク

三、新聞紙法違反、罪 但し風俗を闍スルヲ除ク

三、出版法違反、罪 但し風俗を闍スルヲ除ク

三、言論出版集會結社等臨時取締法違反、罪

三、不慮文書臨時取締法違反、罪

三、宗教団体法違反、罪

三 衆議院議員選舉法違反、罪及法令以テ阻礙
シテ議會、議員、選舉ニ關シ同法、罰則ヲ適用スル法令
違反、罪

三 前號ニ掲ケル罪ト性質ノ同シクスルキウエウノ罪

四 國家總動員法第三條、三三條、第四條、第三六條

乃至第四條、第四二條及第四三條、罪並ニ之等ニ關シ

同法第四八條、罪 但シ昭和一九年軍需省令第六號

ハ、禁制品等、讓渡ニ關スル統制ニ關スル件違反ニ係ル

ヲ除ク

五 昭和三年法律第九二號第五條及第六條、罪並ニ之等

ニ關シ同法第七條、罪

六 臨時資金調整法第七條乃至第九條、罪

三 業調整法違反、罪

四、石炭配給統制法違反、罪

五、木材統制法違反、罪

五、國民勞務務引法違反、罪

五一、兵役法違反、罪

五二、昭和二年陸軍省令第二四號 兵役法施行規則違反、罪

五三、昭和二年陸軍省令第二五號 陸軍 ~~召集~~ 規則違反、罪

五四、昭和七年陸軍省令第五三號 陸軍防衛召集規則違反、
罪

罪

五五、昭和十五年陸軍省令第六號 陸軍志願兵令施行規則

違反、罪

五六、昭和二年陸軍省令第八號 陸軍武官服役令施行規則

違反、罪

五七、昭和二年海軍省令第三號海軍召集規則違反ノ罪
五八、昭和九年海軍省令第六號海軍防衛召集規則違反ノ罪
五九、昭和二年海軍省令第三號海軍志願兵令施行規則

違反ノ罪

六〇、昭和二年海軍省令第二號海軍武官服役令施行規則

違反ノ罪

六一、朝鮮、台湾、閩東州、南洋群島其他帝國
外ノ地域ニ行ハルル法令ノ罪ニシテ前各號ニ掲ケル罪ト性質

同ジラスルモ、

前項第四條乃至第五〇號ニ掲ケル罪(之等ノ罪ト性質
ヲ同ジラスル)同項第六一號ニ掲ケル罪ヲ含ム(以下同シ)ヲ
犯シ二年以上ノ徴役ニ處セラルルモ、ハ同項ノ規定ニ拘ラズ
之ヲ赦免セズ。同項第四號乃至第五〇號ニ掲ケル罪ヲ

犯し罰金以上、刑ニ處せらるルモノガ別ニ左ニ掲グル罪ニ犯シ

罰金以上ノ刑ニ處せらるルモノナル時ハ又同ジ

一、國家總動員法違反ノ罪

二、昭和三年法律第九二號違反ノ罪

三、臨時資金調整法違反ノ罪

四、前項第四號乃至第五號ニ掲グル罪

五、米穀統制法違反ノ罪

七、食糧管理法違反ノ罪

八、外國為替管理法違反ノ罪

九、^{ザンキン}法違反ノ罪

一〇、昭和十四年高工農林省令第一號暴利行為等取締規

則違反ノ罪

二、昭和十九年法律第四號違反ノ罪

三、朝鮮、台湾、南洋群島、其ノ他帝國外ノ地域ニ行ハルル法令ノ罪ニシテ前各號ニ掲グル罪ト性質同ジク

スレモ、

第三條 前條第一項ニ掲グル罪ニカ、ル行爲が同時ニ他ノ罪名

ニシテ時ス、他ノ罪名ニ觸ルル行爲ノ手段、結果タル

時ハ赦免ヲテズ 前條第二項ノ場合於テ同條第一項第

四條號乃至第五條號ニ掲グル罪ニカ、ル行爲が同時ニ

同項ニ掲グル他ノ罪名ニカ、ル時ス、同項ニ掲グル他ノ罪名ニ

カ、ル行爲ノ手段、結果タル時、トシテ他ノ罪ニ付ス

前項ニ同ジ

第三條 前ニ禁錮以上ノ刑ニ處スルモノニシテ昭和二十年九月

161

二日前五年以内ニ特赦減刑スル勅令ニヨリタル復権ノ恩赦
ヲ得 其後七年以内ニ第一條第一項ニ掲グル罪ヲ犯スル
モノニ付テハ 赦免ヲ為サズ

附則 本令ハ交付ノ日ヨリ之ヲ施行ス

6/11

1788

普通

受付番號 38

先方受付 22
22.55

電報班受付 23
08.00

軍參謀長

發所 井邑



護朝參電第九七號

- 一、木浦警備隊八本二三日一三時ヨリ軍需品ノ引継ヲ開始ス
明二三日ニテ終了、予定ニシテ至極圓滿ニ進捗中ナリ
- 二、榮山浦ノ引継ニ関シテハ明日指示アル等
- 三、井邑地区ノ米軍ハ交渉ニ明二三日約四〇名進駐ノ予定ニ
シテ其他ノ地区ノ進駐ハ明後日トナル予定ナリ
- 四、軍用動物管理要員他若干名計三五〇名ハ明後二四日
早朝井邑發釜山ニ輸送セラルル如ク米軍ニ於テ計畫中ナリ

1789

五、護朝兵團ハ各散言備隊、引継完了、二件ハ遂次兵力ヲ
井邑ニ集束結、釜山地区ニ輸送セラルル等ナリ、連絡班ノ移動
ハ全兵力、釜山輸送ヲ見届ケタル後ト致シ度
豫メ了承ヲ乞フ

日高參謀

1730

生立音通

軍參謀長

22.13.30 20920

光州 牛二組 4

朝兵費才三三三三三三
総額二十萬円

世給金 全甲十萬円、木浦三萬円、麗水二萬円

其、他校有費、人件費、需品費等
総額二十萬円

内、五十萬円、八船捕買二代金之替

發額中、金八萬円、及之替金十萬円、光州連絡
班三十万ニシテ蒙定

光州連絡班長

(朝鮮三三三三三三、世給金交付補助
金使用状況、併)

終

生至急

朝鮮軍司令官

マシ博多一太田

第五航軍司令部八月二十日復員ス

参

ニ参謀長以下約六十名ヲ以テ残存者整理班ヲ編成セシモノ
セキニ可クマテ院内^{アムヤカタ}雨館ニ位置シ人事及ビ經理関係殘存者整
理ニ任ジツツアリ

22. 13. 15.

23. 09. 20.

中

第二組

釜山

(3)

第五航軍参謀長

報

240000

240000

(24)

第一編

法電第一號其七

五一兵役法違犯ノ罪

五二昭和二年陸軍省令第二四號兵役法施行規則違犯ノ罪

犯ノ罪

五三昭和二年陸軍省令第二五號陸軍召集規則違犯ノ罪

罪

五四昭和十七年陸軍省令第三號陸軍防衛召集規則

違犯ノ罪

五五昭和十五年陸軍省令第一號陸軍志願兵令

施行規則違犯ノ罪

五六昭和二年陸軍省令第八號陸軍文官弁服役

1793

今施行違反ノ罪

五七 昭和二年海軍省令第三號海軍公法規則違反ノ

罪

五八 昭和五年海軍省令第二號海軍防衛官集

規則違反ノ罪

1794

生 豆 志

10.22.20.17

28. 第 二 組

10.23.09.00

軍 參 謀 長

法 電 第 四 號 其 二

東 京

法 二 月 其 一 犯 狀 行 狀 犯 罪 後 狀 況 等 予 詳 細 二 查 察 シテ

コレヲ 為 ス 事

一 大 赦 令 第 一 條 第 一 項 二 規 定 スル 罪 ヲ 犯 シタルモ
二 三 予 同 令 第 一 條 第 二 項 第 二 條 及 第 三 條 二 依 リ
赦 免 ヲ 得 べ ン 者

(二) 刑 法 第 九 五 條 及 第 九 六 條 一 罪 ヲ 犯 シタルモ

(三) 刑 法 第 一 〇 六 條 及 第 一 〇 七 條 一 罪 ヲ 犯 シタルモ

(四) 刑 法 第 一 九 三 條 及 第 一 九 六 一 罪 ヲ 犯 シタルモ

1795

凶陸軍刑法等五八條ノ罪ヲ犯シタルモノ
凶海軍刑法等五六條ノ罪ヲ犯シタルモノ
凶センガン令違反ノ罪ヲ犯シタルモノ
凶前各條ニ掲グル罪ト性質ヲ同ジタスル戰時刑事

1796

箱

軍參謀長

緊急

274
69時 / 令

69時
20分 (1)

茶二組
京城

又電第八一號

京城ヨリノ休暇軍人引揚輸送ハ二三日ヨリ左ノ順序ニヨリ

實施セラルルニ付承知セラル度。本日は於ケル湯茶、補給準備等

依頼ス尚軍人ノ休暇證明書ヲ持テ乗車ニ得ルニ其

家族ハ有料トシ釜山迄、三年普通引料全引換ニ軍改後

側發行、特別乗車專券ヲ交付セラル。京城地區以外

ノ地ヨリ乗車スル休暇軍人及家族、輸送計畫及

人員ヲ至急送

12

左記

二三日

一五時〇〇分

登

一車

二四時以降

一二時〇〇分及

一五時〇〇分各一車

人員に各車二三五〇名トス

通電先

太田 釜山

終

1798